

石川県の年齢別推計人口 ～平成25年10月1日現在～

平成25年10月1日現在の石川県の年齢別推計人口について取りまとめた。
概要は以下のとおりである。

1 平成25年10月1日現在推計人口

平成25年10月1日現在推計人口は1,159,015人(男560,736人、女598,279人)である。

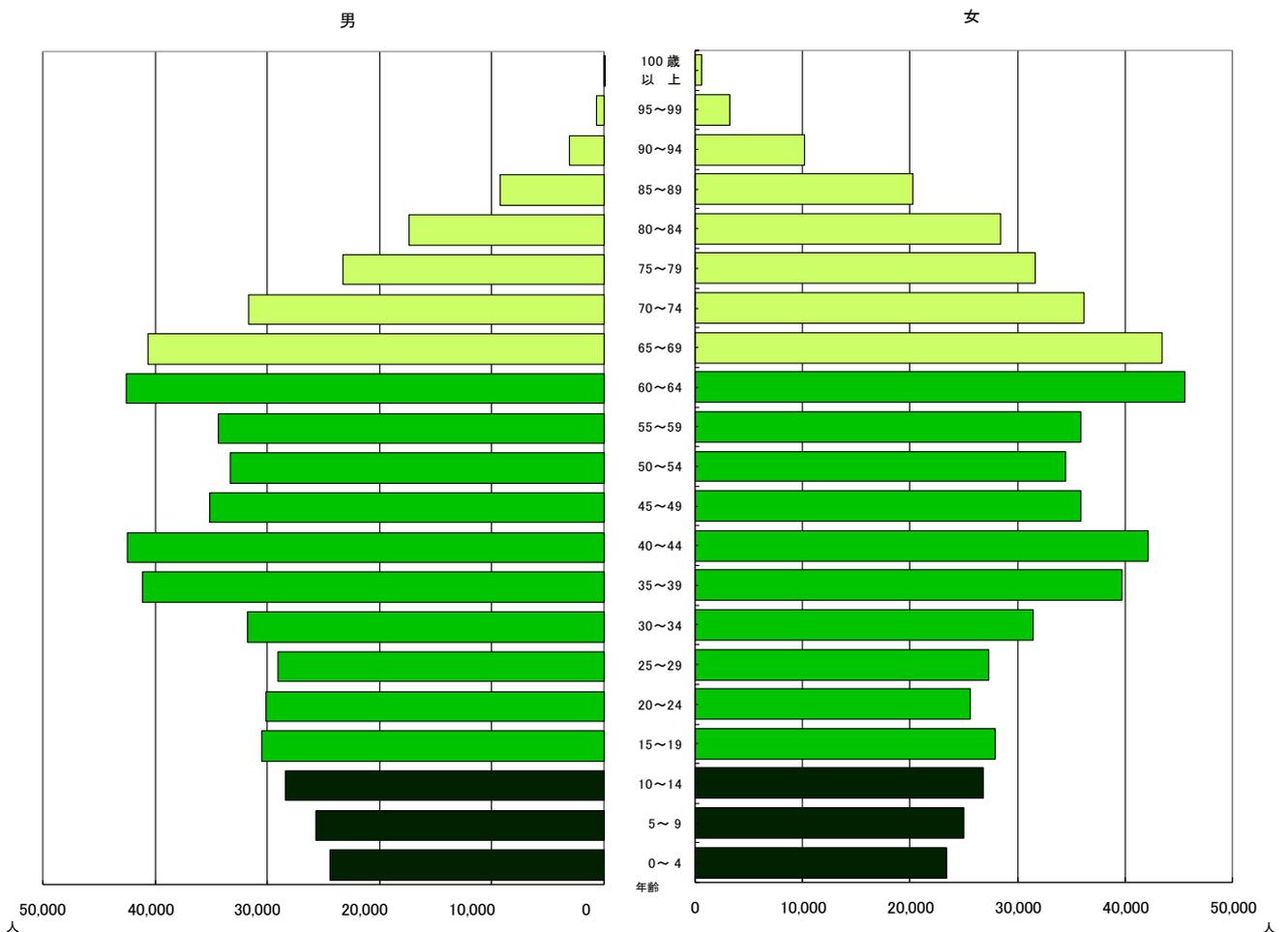
2 年齢(5歳階級)別人口

最も多いのは、60～64歳の88,147人

5歳階級別人口では、60～64歳が88,147人と最も多くなっており、男女別でも同様となっている。
次いで多いのは、40～44歳の84,577人、その次が65～69歳の83,993人となっている。

【図1, 参考表1】

図1 年齢(5歳階級)・男女別人口(平成25年10月1日現在推計)



※60～64歳、65～69歳には、第1次ベビーブーム(昭和22～24年生まれ)の人口が含まれている。
また、35～39歳及び40～44歳には、第2次ベビーブーム(昭和46～49年生まれ)の人口が含まれている。

3 年齢3区分別人口

年少人口及び生産年齢人口の減少、老年人口の増加			
		構成比	前年比
年少人口（0～14歳）	153,603人	（13.4%）	△2,263人（△0.1ポイント）
生産年齢人口（15～64歳）	696,198人	（60.5%）	△12,867人（△1.0ポイント）
老年人口（65歳以上）	299,997人	（26.1%）	11,192人（1.1ポイント）

年齢3区分別人口では、年少人口（0～14歳）が153,603人、生産年齢人口（15～64歳）が696,198人、老年人口（65歳以上）が299,997人となっている。

割合をみると年少人口は13.4%で過去最低、老年人口は26.1%で過去最高となっている。前年に比べ、年少人口が2,263人の減少（0.1ポイントの低下）、生産年齢人口が12,867人の減少（1.0ポイントの低下）、老年人口は11,192人の増加（1.1ポイントの上昇）となっている。

また、老年人口のうち65歳から74歳までは151,822人で13.2%、75歳以上は148,175人で12.9%であり、それぞれの老年人口に占める割合は50.6%、49.4%となっている。

【図2-1、図2-2、参考表1】

図2-1 年齢3区分別人口・割合(平成24・25年)

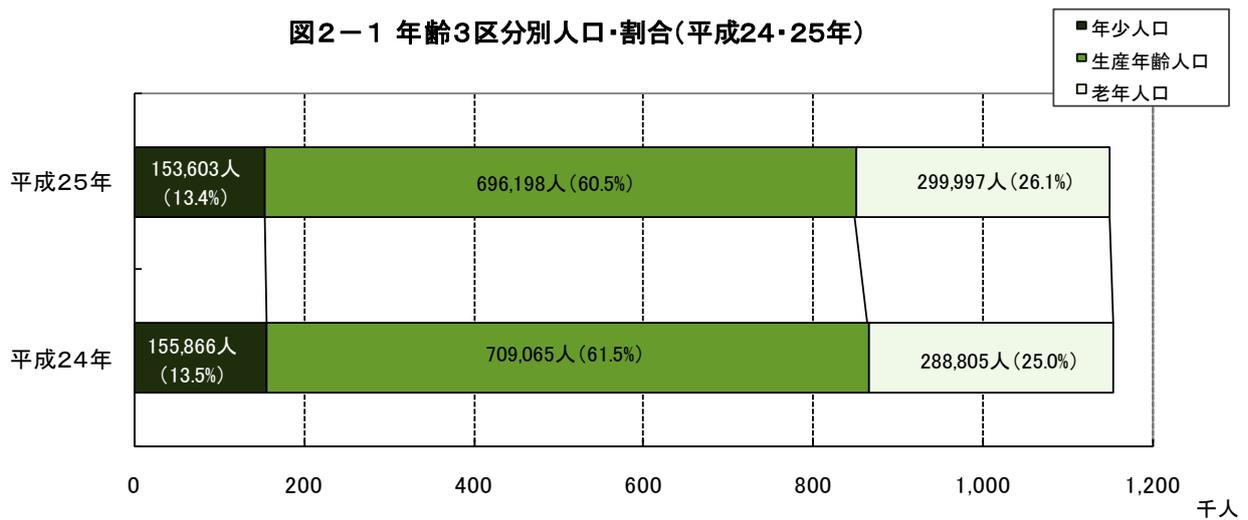
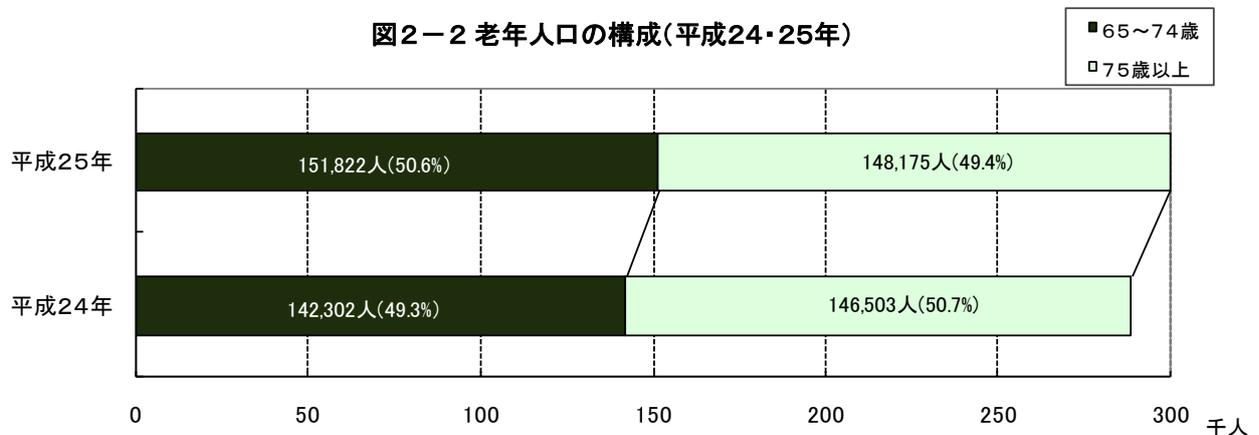


図2-2 老年人口の構成(平成24・25年)



市町別に割合をみると、年少人口では川北町の20.8%、生産年齢人口では野々市市の68.0%、老年人口では珠洲市の44.3%が最も高くなっている。【表1-1、参考表2】

表1-1 年齢3区分別人口割合の順位（平成25年10月1日現在）

順位	年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）	
	市町名	割合（%）	市町名	割合（%）	市町名	割合（%）
1	川北町	20.8	野々市市	68.0	珠洲市	44.3
2	能美市	16.0	津幡町	64.2	能登町	43.8
3	津幡町	15.5	金沢市	63.2	穴水町	43.0
4	白山市	15.0	内灘町	63.1	輪島市	41.1
5	野々市市	14.9	白山市	61.6	志賀町	37.7
15	志賀町	10.5	志賀町	51.8	能美市	22.9
16	輪島市	9.1	輪島市	49.8	内灘町	22.5
17	珠洲市	8.7	穴水町	48.8	津幡町	20.3
18	能登町	8.5	能登町	47.6	川北町	19.1
19	穴水町	8.2	珠洲市	47.0	野々市市	17.1

対前年増減率をみると、石川県全体では年少人口（0～14歳）が1.5%低下、生産年齢人口（15～64歳）が1.8%低下し、老年人口（65歳以上）は3.9%上昇している。

市町別にみると、年少人口は川北町、生産年齢人口及び老年人口は、野々市市の増加率が最も高くなっている。

【表1-2】

表1-2 年齢3区分別人口対前年増減率の順位（平成25年10月1日現在）

順位	年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）	
	市町名	増減率（%）	市町名	増減率（%）	市町名	増減率（%）
1	川北町	1.5	野々市市	0.9	野々市市	6.5
2	野々市市	1.4	川北町	△0.6	内灘町	6.3
3	金沢市	△0.8	能美市	△1.0	白山市	5.7
4	中能登町	△0.8	津幡町	△1.0	津幡町	5.3
5	能美市	△1.4	金沢市	△1.3	金沢市	4.4
15	志賀町	△4.0	輪島市	△4.3	志賀町	2.0
16	能登町	△4.5	志賀町	△4.7	能登町	1.5
17	珠洲市	△5.1	穴水町	△4.8	輪島市	1.4
18	穴水町	△5.8	珠洲市	△4.9	穴水町	0.7
19	宝達志水町	△6.4	能登町	△6.1	珠洲市	0.4

※増減率 = $\frac{\text{平成25年各年齢区分別人口} - \text{平成24年各年齢区分別人口}}{\text{平成24年各年齢区分別人口}} \times 100$

4 10年間（平成15年～25年）の変化

続く少子高齢化、減少する生産年齢人口

年少人口割合は、県全体で平成15年の14.5%から平成25年の13.4%へと1.1ポイント低下している。市町別にみると川北町以外の全ての市町で低下し、低下幅が最も大きいのは津幡町の3.3ポイントとなっている。

生産年齢人口割合は、県全体ではこの10年間で65.4%から60.5%へと4.9ポイント低下している。市町別にみると全ての市町で低下しており、低下幅が最も大きいのは、能登町の7.0ポイントとなっている。

一方、老年人口割合は、県全体ではこの10年間で20.1%から26.1%へと6.0ポイント上昇している。市町別にみると全ての市町で上昇しており、上昇幅が最も大きいのは、能登町の9.9ポイントとなっている。

【表2、図3～6】

表2 年齢3区分別人口割合の推移(平成15年・25年)

市町名	年少人口			生産年齢人口			老年人口		
	平成15年 (%)	平成25年 (%)	割合の 増減 (ポイント)	平成15年 (%)	平成25年 (%)	割合の 増減 (ポイント)	平成15年 (%)	平成25年 (%)	割合の 増減 (ポイント)
石川県	14.5	13.4	△ 1.1	65.4	60.5	△ 4.9	20.1	26.1	6.0
金沢市	14.3	13.3	△ 1.0	68.3	63.2	△ 5.1	17.4	23.4	6.0
七尾市	13.6	11.3	△ 2.3	60.8	56.0	△ 4.8	25.6	32.7	7.1
小松市	15.5	14.5	△ 1.0	64.9	59.6	△ 5.3	19.5	26.0	6.5
輪島市	11.3	9.1	△ 2.2	54.4	49.8	△ 4.6	34.3	41.1	6.8
珠洲市	10.9	8.7	△ 2.2	53.1	47.0	△ 6.1	36.1	44.3	8.2
加賀市	13.6	11.9	△ 1.7	63.2	57.3	△ 5.9	23.2	30.8	7.6
羽咋市	13.1	11.2	△ 1.9	61.2	54.6	△ 6.6	25.7	34.2	8.5
かほく市	15.6	14.1	△ 1.5	64.2	59.0	△ 5.2	20.2	26.9	6.7
白山市	15.7	15.0	△ 0.7	67.3	61.6	△ 5.7	17.0	23.5	6.5
能美市	16.7	16.0	△ 0.7	65.5	61.1	△ 4.4	17.8	22.9	5.1
野々市市	14.9	14.9	△ 0.0	72.6	68.0	△ 4.6	12.4	17.1	4.7
川北町	18.2	20.8	2.6	63.3	60.1	△ 3.2	18.5	19.1	0.6
津幡町	18.8	15.5	△ 3.3	65.6	64.2	△ 1.4	15.6	20.3	4.7
内灘町	16.7	14.3	△ 2.4	69.2	63.1	△ 6.1	14.1	22.5	8.4
志賀町	12.3	10.5	△ 1.8	58.1	51.8	△ 6.3	29.6	37.7	8.1
宝達志水町	14.0	11.5	△ 2.5	61.1	55.7	△ 5.4	25.0	32.8	7.8
中能登町	13.8	13.2	△ 0.6	60.0	54.5	△ 5.5	26.2	32.3	6.1
穴水町	10.5	8.2	△ 2.3	54.9	48.8	△ 6.1	34.6	43.0	8.4
能登町	11.5	8.5	△ 3.0	54.6	47.6	△ 7.0	33.9	43.8	9.9

(注) 各年10月1日現在

平成15年については、同年調査時の41市町村を上記19市町に組み替えて積算した。

图3 市町別年少人口割合(平成15年・25年)

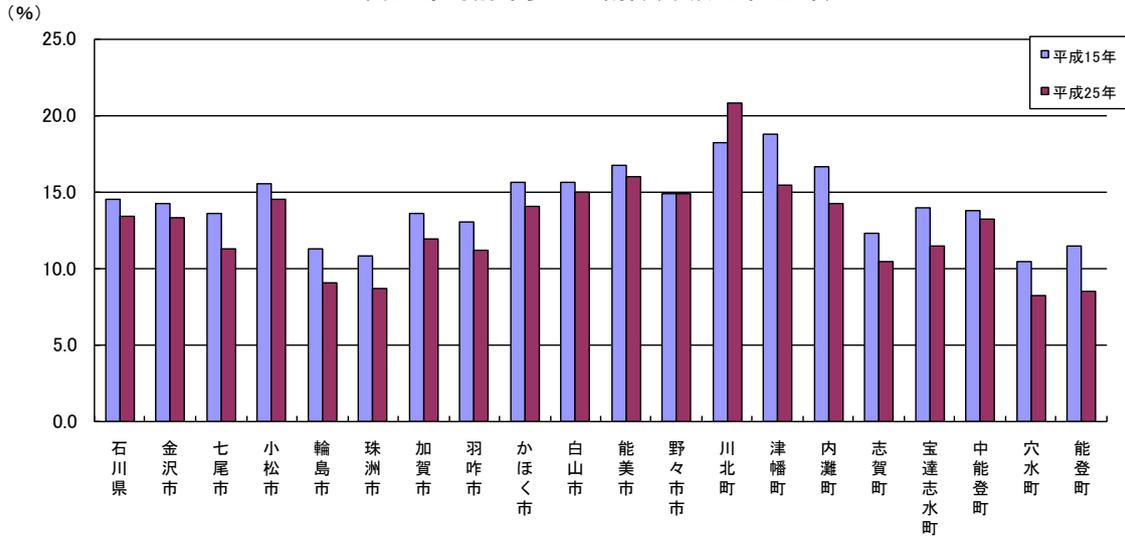


图4 市町別生産年齢人口割合(平成15年・25年)

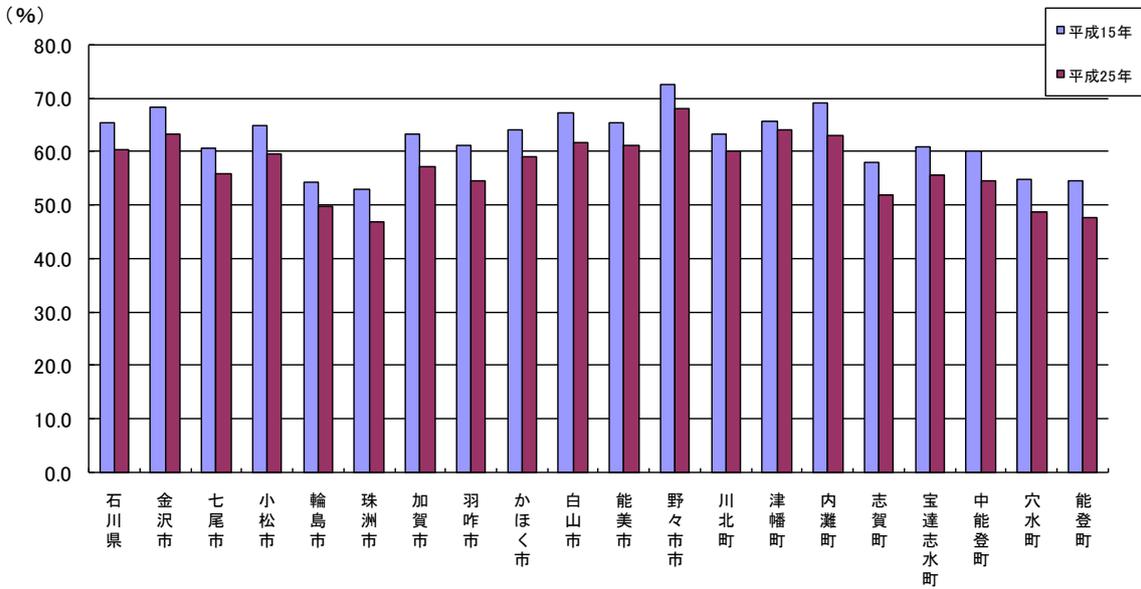


图5 市町別老年人口割合(平成15年・25年)

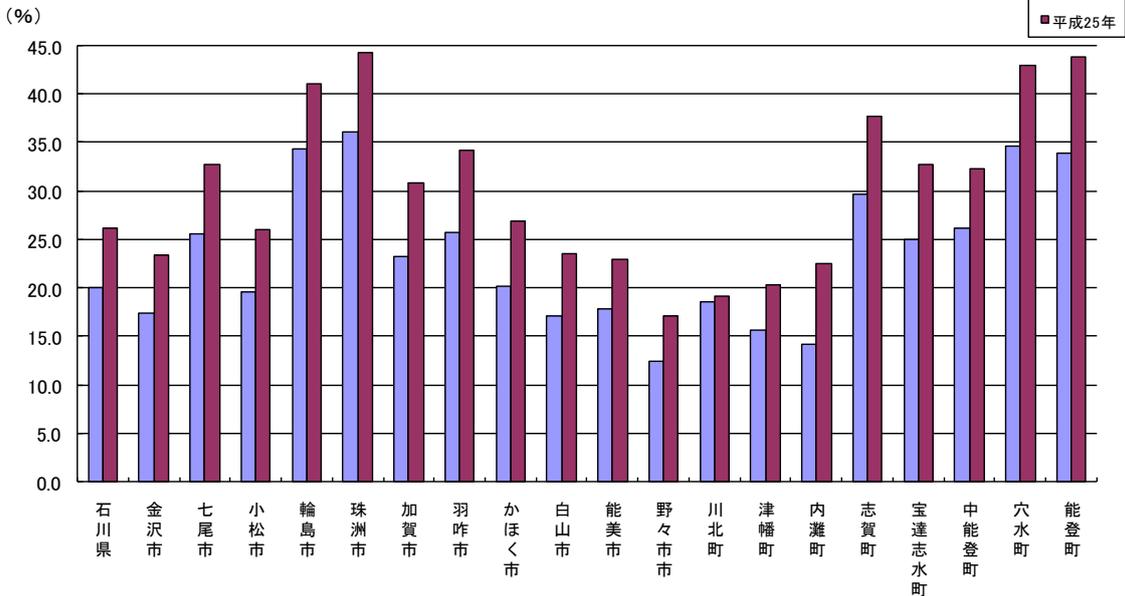
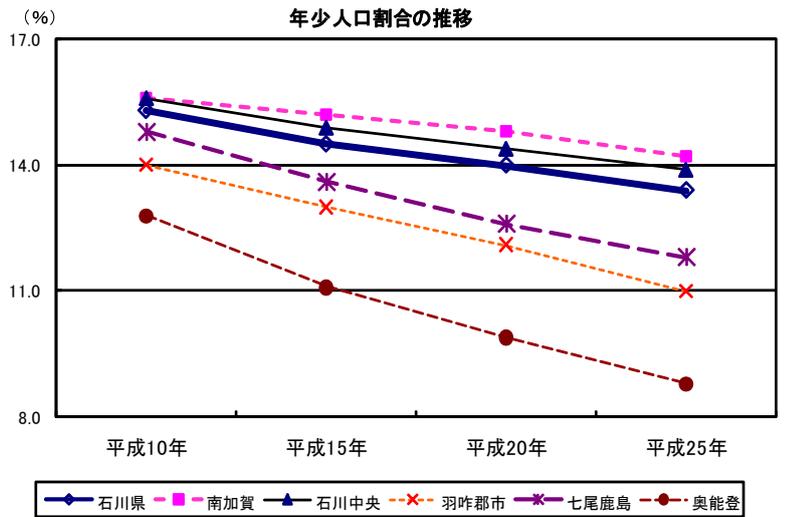


図6 年齢3区分別人口割合(県内地域別)の推移(平成10年~25年)

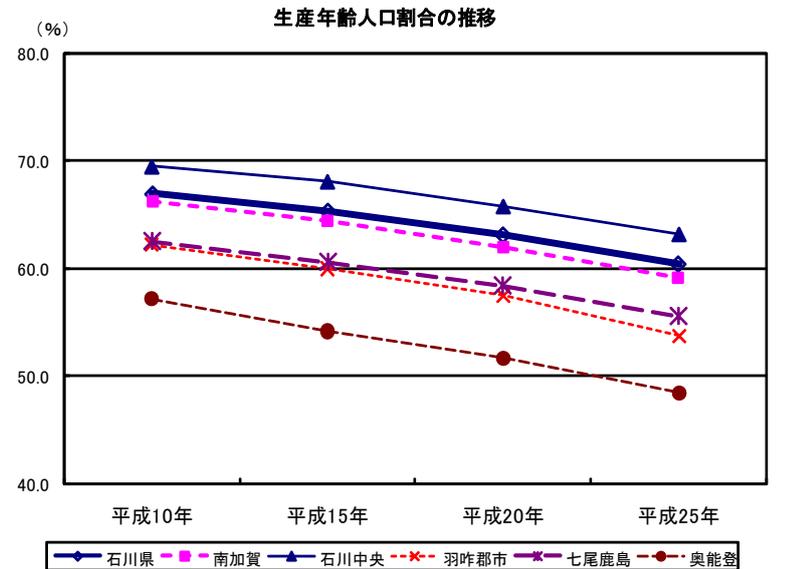
・年少人口割合の推移

	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年
石川県	15.3	14.5	14.0	13.4
南加賀	15.6	15.2	14.8	14.2
石川中央	15.6	14.9	14.4	13.9
羽咋郡市	14.0	13.0	12.1	11.0
七尾鹿島	14.8	13.6	12.6	11.8
奥能登	12.8	11.1	9.9	8.8



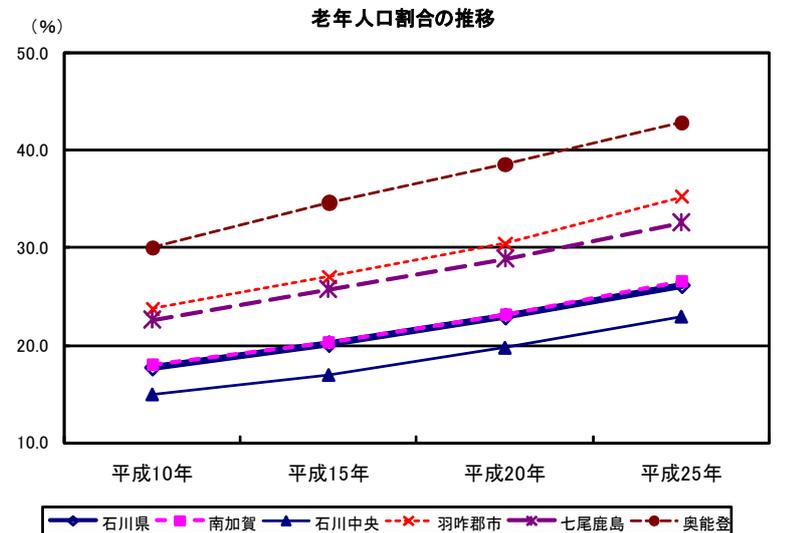
・生産年齢人口割合の推移

	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年
石川県	67.0	65.4	63.2	60.5
南加賀	66.3	64.5	62.0	59.2
石川中央	69.5	68.1	65.8	63.2
羽咋郡市	62.2	60.0	57.5	53.8
七尾鹿島	62.6	60.6	58.5	55.6
奥能登	57.2	54.2	51.7	48.5



・老年人口割合の推移

	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年
石川県	17.7	20.1	22.9	26.1
南加賀	18.0	20.3	23.2	26.6
石川中央	14.9	16.9	19.7	22.9
羽咋郡市	23.7	27.0	30.4	35.2
七尾鹿島	22.6	25.8	28.9	32.6
奥能登	30.0	34.6	38.5	42.8



※区分

南加賀：小松市、加賀市、能美市、能美郡
 石川中央：金沢市、かほく市、白山市、野々市市、河北郡
 羽咋郡市：羽咋市、羽咋郡
 七尾鹿島：七尾市、鹿島郡
 奥能登：輪島市、珠洲市、鳳珠郡

5 人口動態 (速報)

平成24年10月1日から平成25年9月30日の1年間で、自然動態は出生数9,515人 死亡数12,477人で2,962人の減少だった。社会動態は県外からの転入者数21,958人、県外への転出者数22,934人で976人の減少だった。【表3～5、参考表4】

表3 年次別、要因別人口動態数の推移

(単位：人)

年次	人口	人口増減数	自然動態			社会動態			国勢調査結果による補間補正数
			自然増減数	出生者数	死亡者数	社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数	
平成15年	1,178,709	△ 1,551	986	10,954	9,968	△ 2,383	21,649	24,032	△ 154
16	1,176,522	△ 2,187	614	10,587	9,973	△ 2,649	23,160	25,809	△ 152
17	1,174,026	△ 2,496	△ 25	10,330	10,355	△ 2,318	22,882	25,200	△ 153
18	1,172,859	△ 1,167	△ 264	10,194	10,458	△ 1,971	23,019	24,990	1,068
19	1,172,550	△ 309	△ 237	10,278	10,515	△ 1,140	22,866	24,006	1,068
20	1,172,371	△ 179	△ 461	10,473	10,934	△ 786	22,466	23,252	1,068
21	1,170,928	△ 1,443	△ 1,316	10,006	11,322	△ 1,195	22,020	23,215	1,068
22	1,169,788	△ 1,140	△ 1,748	9,724	11,472	△ 461	21,329	21,790	1,069
23	1,166,315	△ 3,473	△ 2,430	9,507	11,937	△ 1,043	20,890	21,933	-
24	1,162,953	△ 3,362	△ 2,375	9,670	12,045	△ 987	20,872	21,859	-
25	1,159,015	△ 3,938	△ 2,962	9,515	12,477	△ 976	21,958	22,934	-

注：各年分の人口増減数は前年10月から当年9月までの自然動態、社会動態及び国勢調査結果による補間補正数の計である。平成17年、22年の人口は国勢調査、その他は推計人口（平成15年～16年、平成18年～21年は国勢調査結果による補間補正値）である。

表4 過去1年間の自然動態の順位(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

順位	増加				減少			
	増加数 (人)		増加率 (%)		減少数 (人)		減少率 (%)	
1	野々市市	355	野々市市	0.66	七尾市	465	珠洲市	1.79
2	川北町	18	川北町	0.29	加賀市	419	穴水町	1.67
3	津幡町	16	津幡町	0.04	輪島市	387	能登町	1.55
4	能美市	14	能美市	0.03	金沢市	305	輪島市	1.36
5	-	-	-	-	能登町	288	宝達志水町	1.18

(注) 平成24年10月から25年9月までの1年間の計である。

表5 過去1年間の社会動態の順位(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

順位	増加				減少			
	増加数 (人)		増加率 (%)		減少数 (人)		減少率 (%)	
1	野々市市	656	野々市市	1.21	白山市	403	能登町	1.19
2	金沢市	634	川北町	0.34	加賀市	327	志賀町	1.05
3	かほく市	58	かほく市	0.17	七尾市	326	宝達志水町	0.94
4	川北町	21	金沢市	0.14	小松市	236	穴水町	0.91
5	能美市	18	内灘町	0.04	志賀町	226	珠洲市	0.86

(注) 平成24年10月から25年9月までの1年間の計である。